

＜意見交換会参加費＞アンケート結果

1 「意見交換会参加費」とは

香川県議会では、平成 25 年度に 26 人の議員が年間約 2400 件・1700 万円の「意見交換会参加費」を支出し、領収書発行者の大半は町内会や個人でした。平成 21～23 年度の岡山県議会の（領収書の提出義務のない）「1 万円以下支出」では、現金の参加費のほか「手土産」「差入れ」の代金が多数発見されました。最近では、東京都議会の平成 27 年度政務活動費でも発見されました。

2 アンケートの実施

四国 4 県と三重県の県議会議員全員にアンケート調査を行いました。

＜意見交換会参加費用＞は、以下のとおり定義しました。

- i 議員の選挙区内で行われる会合で、
- ii 議員やその関連団体（後援会、政党支部など）以外の団体または個人が開催するもののことを言います。
- iii ①飲食を伴うか否か、②参加者の参加費が定められているものか否かを問いません。

＜参加費用を支出する＞とは、

会合に参加することに伴って、①開催者に現金を支払うこと、もしくは、②開催者に渡す物品（菓子、茶、酒類など）の購入代金を支払うことを言います。

3 アンケートの結果

回答数 103/210

香川 7/41、愛媛 9/45、徳島 24/37、高知 30/37、三重 33/50

香川県議会＜自民党議員会＞（17 人）、徳島県議会＜自民創政会＞（6 人）、高知県議会＜自民党＞（19 人）、三重県議会＜新政みえ＞（23 人）は、会派として一括回答し、うち香川県議会＜自民党議員会＞は「訴訟が係属中」との理由で具体的質問への回答を拒否されました。

集計結果

- 1 ＜意見交換会参加費＞として、政務活動費から現金の支出をすることについて、どうお考えでしょうか。（回答数 103）

「すべて適正」1、「すべて不適正」15、「場合による」86、その他 1。

- 2 （問 1 の「C」回答者に）どのような場合に適正とお考えでしょうか。（回答数 86。複数回答は重複記載。『追加条件を付する回答』も含む）

「飲食なし」10、「議員との意見交換が主目的」4、「飲食なし、会費額が定められ、議員との意見交換が主目的」4、「会費額が定められ、議員との意見交換が主目的」6、「飲食なし、議員との意見交換が主目的」29、その他 35。

「その他」中、「関係例規に則り、政務活動と判断される場合」×13、「自らが所属していない団体の主催する意見交換会の参加費については、あくまで実質的な意見交換が中心である場合。なお、飲食を伴う懇談会等の会費については支出しないこととしている。」×19

- 3 <意見交換会参加費>として、政務活動費から物品の購入費を支出することについて、どうお考えでしょうか。(回答数 103)

「すべて適正」0、「すべて不適正」69、「場合による」17、その他 17。

「その他」中、「物品購入費を支出することは通常は考えられない」×13

- 4 (問3の「C」回答者に) どのような場合に適正とお考えでしょうか。(回答数 18。『追加条件を付する回答』も含む)

「飲食なし」8、「議員との意見交換が主目的」5、「飲食なし、議員との意見交換が主目的」4、その他 1。

- 5 あなたは、平成 27 年度に、<意見交換会>に参加するための現金を、政務活動費から支出されましたか。(回答数 77)

「支出した」3、「支出しなかった」73、その他 1。

- 6 あなたは、平成 27 年度に、<意見交換会>に参加するための物品購入代金を、政務活動費から支出されましたか。(回答数 96)

「支出した」1、「支出しなかった」94、その他 1

<担当者コメント>

- 1 回答の大半は、「不適正」(少数)と「場合によるが、条件は厳しく、自分
は支出していない」(多数)に二分されました。回答された議員の大半が「意見交換会参加費」に対して厳しい考え方をとっていることがわかります。参加用の物品購入についてはなぜか現金以上に否定的回答が多数でした。

- 2 他方で、低回答率が特定の議会・会派に集中しました(香川県議会自民議員会 2/17、自民県政会 0/12、リベラル 1/8、愛媛県議会自民 3/26、維新 0/6)。担当者は「実際に支出している人はほとんど回答してこないだろう」という<仮説>をたてていましたが、そのとおりの結果となった可能性が濃厚です。

- 3 自由記載の中では、次のものが注目されました。

「私が案内をいただく『意見交換会』は全て飲食を伴うものでした」(三重)

「多くの地方議員が、後援会活動に多くの歳費を費やさざるを得ず苦慮している…『歳費は高い、減らせ』と言われ、政務活動費では事務所開設維持経費(事務機器リース料他もろもろ)では全額はダメと自己負担している状況」(香川)

後者は稀にみる率直な意見で、政務活動費が社会的実態として<議員活動のランニングコスト>を賄うために使われていることを、強く示しています。